

---

---

令和 6 年度  
沖縄県航空関連産業クラスター形成  
加速会議  
提言書（概要）

---

---

令和 7 年 3 月

# 令和6年度 沖縄県航空関連産業クラスター形成加速会議の提言概要

沖縄県航空関連産業クラスターの形成を目指して、アクションプランの実現に向けた戦略及び施策等の進捗を確認するとともに、効果的に展開するための改善策等について、民間事業者、教育機関、各種団体、行政等の関係者が集まり、意見交換を行い、令和6年度の提言を取り纏めた。

## 加速会議における主な意見

### 第1回 (R6.8.19)

#### アクションプランの進捗と調査事項について意見交換

- ◎ 格納庫拡張に向けた予算確保の必要性、加速会議の関わり方を検討すべき
- ◎ 二次交通対策として新たな領域(空飛ぶクルマ等)へ長期的に取り組む必要性
- ◎ 航空関連産業の人材確保のための体制づくりから取り組むべき

### 第2回 (R6.11.15)

#### アクションプランを推進する改善策について意見交換

- ◎ 装備品MROについては品目も多く、技術基準等の観点からもメーカーと連携した誘致が重要
- ◎ 加速会議やクラスター会員企業等が一体となった人材育成が重要
- ◎ グローバルな視点でシンガポールなどMRO先進事例の研究が必要

### 第3回 (R7.2.3)

#### 令和6年度の提言書(初稿案)に関する意見交換

- ◎ 中長期的な事業見通しに基づく、航空関連クラスター形成加速の推進と定期的な見直しの実施が必要
- ◎ 国の施策に沿う形で沖縄のMRO産業を位置づけるべき
- ◎ 離島における新たな領域(空飛ぶクルマ等)の活用可能性を検討すべき
- ◎ 航空大学の誘致実現等による航空人材の育成拠点として検討すべき
- ◎ 沖縄はMROがある国内唯一の自治体という強みを活かした、航空産業特区などの制度創設、用地確保等による企業誘致の啓発の必要性

## 令和6年度 提言事項

### ① 沖縄のMRO産業の独自性強化の推進と航空機整備施設の拡張整備、大胆な支援策の検討

グローバルな観点で沖縄のMRO産業の独自性強化が不可欠であるとともに、那覇空港の機能強化と連動した新たな航空機整備施設の整備や用地確保が急務であることから、中長期の事業見通しに基づく新施設の整備計画とともに、MRO産業特区(仮称)の創設など大胆な支援策を検討していただきたい。

### ② クラスターへの新たなプレーヤーの参画実現へ

航空関連産業クラスターの中核となる機体整備事業とシナジーを創出する装備品MRO等誘致や県内企業の参画可能性を調査し、クラスター形成を促す仕組みづくりを検討していただきたい。

### ③ 航空人材の確保・育成に必要な支援策、体制構築

航空人材の確保・育成に向けて、産学官が連携する仕組みが必要であるため、クラスター会員企業(推進会)及び教育機関等が参画する航空業界研究セミナーや業界説明会等による人材確保の取組を強化していただきたい。

### ④ 県内航空関連産業への理解増進と人材を呼び込む仕組みづくり

若い世代に県内航空関連産業への興味・関心を高めるために、小中高生への理解増進活動を強化するとともに、魅せる人材育成の取組として航空大学校等の誘致の実現可能性を検討していただきたい。

### ⑤ 新たな領域(空飛ぶクルマ等)の沖縄における可能性検討

観光需要を契機とした新たな領域(空飛ぶクルマ等)に取り組む企業の誘致に向けて、大胆な発想のもと規制緩和やテストベッド等の活用による事業展開の可能性を調査していただきたい。

## 《令和6年度加速会議における意見一覧》

| 基本戦略         | 項目                                            | 追求すべき戦略上のポイント                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 戦略を具体化する取組・施策                                                                                                                                                                                                                                     |
|--------------|-----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|              | 航空機整備を起点としたMRO産業の育成                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ クラスター形成による経済波及効果、税収効果の試算の重要性</li> <li>○ クラスター拡大には国内外のエアライン整備需要を取り込むことが大事</li> <li>○ 離島空港での外航誘致サポートによる整備拡大</li> <li>○ 航空関連産業特区創設、用地取得支援、税制優遇措置による誘致強化</li> <li>○ 航空関連企業の誘致とセットにした住環境整備による人材確保支援</li> <li>○ 海外の行政機関との情報交換による産業基盤の強化を検討すべき</li> </ul>                                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ クラスターの効果を示すには航空機整備施設の費用対効果の見せ方が重要である</li> <li>➢ 海外事例の分析による沖縄MRO産業戦略を立案すべき</li> </ul>                                                                                                                     |
| 基本戦略1        | 世界最高水準を見据えた拠点空港を目指す空港の機能強化と連動した航空関連産業クラスターの形成 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ クラスター形成に向けた周知活動による機運醸成が重要である</li> <li>○ 那覇空港の機能強化とアクションプランの整合による取組検討が必要である</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 新たな航空機整備施設整備の費用対効果試算を精査すべき</li> <li>➢ 新たな航空機整備施設の整備には具体的な精査・検討が重要</li> <li>➢ クラスター拠点づくりに向け効果的な配置計画を検討すべき</li> <li>➢ MRO集積には那覇空港の機能強化の連動による新たな施設整備が必要</li> <li>➢ 那覇空港の機能強化と連動した検討調査には時間軸に留意すべき</li> </ul> |
|              | 装備品MROの大型案件誘致<br>県内企業等のクラスター参画促進              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 装備品MROや周辺産業の誘致に向けインキュベート施設を検討すべき</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 装備品MROの誘致にはメーカーとの連携が不可欠である</li> <li>➢ 県内企業等の参画促進策の検討によるクラスター形成を促進すべき</li> </ul>                                                                                                                          |
| 基本戦略2        | 関連産業との連携による競争力強化                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ eVTOLの事業性の課題が実用化にはハードルであり、沖縄での実用化を検討する先行事例の調査が必要</li> <li>○ VTOLの活用による離島における観光振興への期待から、離島での空飛ぶクルマ等のニーズと離島空港活用の可能性を検討すべき</li> <li>○ 運航スポット整備には地元住民との合意形成が不可欠</li> <li>○ ジャングリア開業は空飛ぶクルマ等の実用化に向けたチャンス</li> <li>○ 技術開発型R&amp;Dに取り組む企業誘致が、新たな領域の発展戦略になり得る</li> <li>○ 空飛ぶクルマ等の実用化による整備・オーバーホール拠点拡大への期待から、多拠点での修理・運航サポートの可能性がある</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 沖縄の普及ポテンシャルを踏まえ新たな領域(空飛ぶクルマ等)の誘致を目指すべき</li> <li>➢ 新たな領域(空飛ぶクルマ等)の誘致には県の明確なニーズが必要である</li> </ul>                                                                                                           |
| 基本戦略3        | 航空関連産業の人材育成・供給機能の拡充                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 整備士確保から航空人材育成へと二段階の戦略で裾野拡大すべき</li> <li>○ 航空や地域産業を教科に取り入れることで若年層の関心を醸成すべき</li> <li>○ 教育界のみでは人材育成に限界があり、産学官連携の推進が必要である</li> <li>○ 人材像や人数の明確化とコース設定等の検討による的確な人材育成が必要</li> <li>○ 国際基準対応の訓練施設整備によりグローバル競争力を強化すべき</li> <li>○ 航空人材の確保には奨学金制度等を検討すべき</li> <li>○ 国内外から航空人材の獲得には航空専門教育機関が必要</li> </ul>                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 早期から航空産業に触れる機会、関心を高める取組が必要</li> <li>➢ 人材獲得には現ターミナルを活用した魅せる教育訓練施設を整備すべき</li> <li>➢ 企業誘致の観点で沖縄に航空大学校等の誘致を検討すべき</li> <li>➢ 産学官が協調して航空関連産業への県民の理解増進に取り組むべき</li> <li>➢ 産学官の連携で整備士、操縦士育成を沖縄で取り組むべき</li> </ul>  |
| 基本戦略全体に関する意見 |                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 企業誘致における大胆な支援策と将来的な視点での用地確保の必要性</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ クラスターの拠点形成には国の関わりが必要</li> </ul>                                                                                                                                                                          |